allcinema

愛の風景（1992）

DEN GODA VILJAN
BEST INTENTION

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン／デンマーク／フランス／イギリス／ドイツ／イタリア／ノルウェー／フィンランド／アイスランド
色彩 Color
時間 180分
初公開日 1993/01/15
公開情報 ＫＵＺＵＩ

【解説】

「ペレ」でカンヌのパルム・ドールをとったアウグストがわずか４年後に再び同賞をブーイングを浴びながらも受けた、ベルイマンの自伝的脚本の映画化。元々はＴＶ作品で、オリジナルは「ベスト・インテンション／善意ある人々」のタイトル（再放送時に「ベスト・インテンション／愛の風景」と改題）でＪＳＢにて放映された。これはその劇場用再編集版である。彼の両親の間の愛・確執・和解がその出会いから描かれる波乱万丈の物語。これを自伝執筆中にやむにやまれず書き上げたベルイマン自身の推挙によって、アウグストが、当時既にオファーの来ていたハリウッドでの仕事を蹴って、監督の任についた。神学校に学ぶ貧しい青年ヘンリクは、上流階級の美しい娘アンナと周囲の反対を押し切って結婚。育った生活環境の違いや信仰の問題でたびたび別居を繰り返す二人だが、妻の妊娠（身篭もった赤子がベルイマン）を契機に、若々しい恋情を失っても落ち着いた夫婦の絆を獲得する。時に苦々しい冷めた愛憎の洞察がさすがベルイマン。しかし、アウグストの演出に取り立てて傑出したところはなかった。夫婦の各々の母を演じた女優（Ｍ・マルム－－ヘンリク、Ｇ・ナーウ－－アンナ）の親のエゴの表出に凄みがある。それは、Ｍ・Ｖ・シドー扮するアンナの父役など飾り物めいて見えるほどである。

【クレジット】

監督	ビレ・アウグスト	Bille August
製作	ラーシュ・ビィエルケスクーグ	
製作総指揮	イングリード・ダールベリ	
脚本	イングマール・ベルイマン	Ingmar Bergman
撮影	イェリエン・ペルション	Jorgen Persson
音楽	ステファン・ニルソン	Stefan Nilsson
出演	サムエル・フルーレル	Samuel Fröler
	ペルニラ・アウグスト	Pernilla August
	マックス・フォン・シドー	Max Von Sydow
	ギタ・ナービュ	Ghita Nørby
	Ｍ・マルム	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.